

教育課程

カリキュラムは、「共通5領域」、「選択領域」、「学校における実習」、「プロジェクト研究」に分かれています。また、理論と実践の往還を進める場であるラウンドテーブルに年2回参加・実践報告します。

科目領域		コース	
		ミドル・リーダー養成コース	教育実践高度化コース
理論	共通5領域	現代的な教育課題への基礎対応力を形成	
	必修20単位	教育課程の編成・実施 生徒指導・教育相談 学校経営・学級経営	教科等の実践的な指導方法 学校教育と教員のあり方 福島の学校と教育課題
実践	選択領域	学校改革領域 学校マネジメント科目 学校改革科目	授業改善領域 教科横断型授業改善科目 各科授業改善科目
	必修8単位	特別支援に関する理論と実践科目 特別支援に関する理論と実践科目	
理論と実践の往還		ラウンドテーブル	
実践	プロジェクト研究	学校課題対応プロジェクト研究 授業実践高度化プロジェクト研究 特別支援教育実践プロジェクト研究	実践の省察 → 課題の明確化 → 解決法探索 → 計画実践 → 分析評価 → 報告書作成 自らの課題を明確にして必要な理論・方法を学び方策を計画・実践して結果を分析・評価
	必修8単位		
実践	学校における実習	学校課題対応実習(中堅現職学生) 教職専門実習Ⅱ(中堅現職学生) 学校支援実習Ⅱ(中堅現職学生)	長期インターンシップⅠ・Ⅱ(学部新卒学生) 教職専門実習Ⅰ(若手現職学生) 学校支援実習Ⅰ(若手現職学生) 教育実践高度化実習(若手現職学生)
	必修10単位		

教職大学院での学びのイメージ

1 年 生													2 年 生																																			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																									
共通5領域	●教育課程編成実践研究 ●授業づくりの理論と実際 ●生徒指導の事例研究 ●学校ガバナンスの事例研究 ●福島の学校と教育課題Ⅰ												●教材開発と教育方法の実践と課題 ●学校カウンセリングの事例研究 ●学校・学級づくりの実践研究 ●公教育の理念と教育改革												●学校と地域 ●福島の学校と教育課題Ⅱ																							
	●主体的な学びで育成するための理論と実践Ⅰ												●国語授業の理論と実践 ●生活科・総合的な学習の時間に関する理論と実践												●主体的な学びで育成するための理論と実践Ⅱ																							
選択領域	教育実践高度化プロジェクトⅠ ラウンドテーブル												教育実践高度化プロジェクトⅡ ラウンドテーブル												教育実践高度化プロジェクトⅢ ラウンドテーブル												教育実践高度化プロジェクトⅣ ラウンドテーブル											
プロジェクト研究	● ●																																															

ミドルリーダー養成コースの実習

教職専門実習Ⅱ
学校参観・教育委員会の訪問や学校でのジョブ・シャドーイングをおこないます。

学校支援実習Ⅱ
授業・学校行事等に参画しチーム学校のあり方を検討します。
学部新卒学生のメンターも務めます。

学校課題対応実習
公開研究や校内研修の企画・運営に参加します。

時間割モデル					
	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5					

● 理論 ● 実践 ● カンファレンス

教育実践高度化コース(若手現職学生)の実習

教職専門実習Ⅰ
先進的な研究校を参観します。

学校支援実習Ⅰ
連携協力校の授業や学校行事等を支援します。

教育実践高度化実習
連携協力校でチームティーチングによる授業研究・提案授業等を実施します。

教育実践高度化コース(学部新卒学生)の実習
長期インターンシップⅠ・Ⅱ
教員の仕事を総体として理解するとともに、実践から課題を見いだします。

カンファレンス(週間・月間)への参加

現場での実習や支援を振り返って大学教員からアドバイスを受たり、学生や教員で事例検討をしたりします。



ラウンドテーブルへの参加・報告

5~6名の小グループで報告し討論することで、教育現場での実習や支援を省察し、次の活動へと活かします。県内外からの参加者を募り、大規模に開催します。

